

2024年5月23日

各 位

会 社 名 富士電機株式会社
 代 表 者 代表取締役会長CEO 北澤 通宏
 (コード番号6504 東証プライム、名証プレミア、福証)
 問合せ先 経営企画本部 経営企画室長 岸 泰造
 TEL. 03-5435-7213

2026 年度中期経営計画「熱く、高く、そして優しく 2026」について

富士電機株式会社（代表取締役会長 CEO：北澤 通宏、本社：東京都品川区）は、2026 年度を最終年度とした3 年中期経営計画「熱く、高く、そして優しく 2026」を策定しました。

当社は、創立 100 周年に当たる 2023 年度を最終年度とする 5 年中期経営計画において、目標に定めた売上高 1 兆円・営業利益率 8%以上を 1 年前倒しで達成しました。2024 年度は次なる 100 周年に向けた新たなスタートとなります。経営の原点に戻り、経営スローガンに掲げる「熱く、高く、そして優しく」*を新中期経営計画の呼称とし、コア技術であるパワーエレクトロニクス技術に更に磨きをかけ、エネルギー・環境事業でサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

1. 重点戦略

「利益重視経営による更なる企業価値向上」を基本方針とし、以下の重点戦略に取り組みます。

■収益力の更なる強化

資本コストを意識した事業運営を徹底し、更なる成長に必要なキャッシュを創出していきます。また、デジタル活用による更なる生産性の向上を図ります。

■成長戦略の推進

成長分野の半導体、エネルギー、インダストリーへ重点投資を行い、パワー半導体、エネルギーマネジメント、モビリティなどの成長領域での新製品投入による事業拡大を図ります。合わせて、GX 分野での 2027 年度以降の市場拡大を見据え、新事業の創出を目指します。海外事業では、インフラ投資が拡大しているインドを中心に取り組みを強化します。

■経営基盤の強化

持続的な企業価値向上を支える「環境」「人財」「ガバナンス」への取り組みを更に強化し、事業環境変化への対応を進めます。

2. 業績目標（連結）

	2023 年度実績	2026 年度中期経営計画	増減
売上高	11,032 億円	12,500 億円	+1,468 億円
営業利益	1,061 億円	1,400 億円	+339 億円
営業利益率	9.6%	11.2%	+1.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	754 億円	900 億円	+146 億円
純利益率	6.8%	7.2%	+0.4pt

※前提為替レート：1US\$=140 円、1EURO=150 円、1 人民元=19.5 円

【財務指標】

ROE(自己資本利益率)	13.5%	12%以上
ROIC(投下資本利益率)	11.5%	10%以上
自己資本比率	47.4%	50%程度
ネットD/Eレシオ	0.2倍	0.2倍程度
配当性向	25.6%	30%目安

※経営スローガン「熱く、高く、そして優しく」

「熱く」…新しい技術や製品を生み出し、社会に貢献する「熱い」気持ち

「高く」…目標を「高く」掲げて、それに邁進していく気概、心意気

「優しく」…お客様、仲間、家族に感謝し、大切に思う「優しさ」

【注記事項】

本資料における予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

以 上